

信州の本好きの風土の伝統は、

今でも脈々と受け継がれている。

上野 千鶴子

(東京大学名誉教授)

本はここではないどこか、異界へといながらにして連れて行ってくれる「ドラえもん」のどこでもドアだ。山間の田舎に閉じこめられていないと、感じる必要はない。塩尻市立図書館には筑摩書房の全刊行物がそろっているし、諏訪市には戦後の岩波書店の全刊行物をそろえた信州風樹文庫がある。創業者は本が好きすぎて、本をつくる側にまわった人たちだ。信州の本好きの風土の伝統は、今でも脈々と受け継がれている。



撮影：後藤さくら

上野 千鶴子
(2023年度講師)

「信州しおじり本の寺子屋」は、塩尻市立図書館が中心となって、生涯読書を推進するために設置するものです。原型は、地域の人々の生涯学習と出版業界人の研修の場として、1995年に今井書店グループが鳥取県米子市に開設した「本の学校」にあります。

本事業は、その精神を受け継ぐと共に、塩尻市が出版王国と言われる信州に所在し、日本の出版文化に偉大な軌跡を残した筑摩書房の創設者、古田晁の生誕の地であることに鑑み、講演会、講座等のさまざまな事業を通じて、「本」の可能性を考える機会を広く提供するものです。

活字離れといわれる昨今の状況に対して、著者、出版社、書店、図書館などが連携して本の魅力を発信し、出版文化の未来に寄与するために、図書館を「本の寺子屋」とし、読者も含めてここに集う人々の知恵の交流を促すことで、地方発の文化の創造と発信に挑戦したいと考えております。

皆様のご支援、ご参加をお願いいたします。

本の可能性を考えたい。

- 主催 塩尻市・塩尻市教育委員会
- 企画 長田洋一
(編集者・元河出書房新社文芸編集長)
- 顧問 永井伸和
喜入冬子
常世田良
- 後援 塩尻書店組合
長野県図書館協会
信州大学
松本大学
朝日新聞松本支局
信濃毎日新聞社
MGプレス
市民タイムス
中日新聞社
長野日報社
毎日新聞長野支局
読売新聞長野支局
エールナイ
テレビ松本ケーブルテレビ
NHK長野朝日放送
NHK長野放送
NHK信越放送
TSSBテレビ信州
日本ハイコム
(順不同)

後援、協賛いただける団体、企業様を募集しています。

塩尻市立図書館

〒399-0736 塩尻市大門一番町12番2号 えんばーく内
TEL 0263・53・3365 FAX 0263・53・3362
E-mail tosho@city.shiojiri.lg.jp

【電 車】JR塩尻駅下車、東口(正面口)から徒歩約8分

【 車 】長野自動車道 塩尻ICから約10分

※駐車場は市民交流センター平面駐車場または市営大門駐車場をご利用ください。



<https://www.library-shiojiri.jp/>

本の寺子屋

第13期
信州しおじり

SHINSHU SHIOJIRI
HON NO TERAKOYA

2024

- 【講師一覧】
- 福島 泰樹
- 落合 恵子
- 是住 久美子
- 山本 一力
- 中川 ひろたか
- 亀山 郁夫
- 加藤 陽子
- 青木 いず美
- 伊藤 純郎
- 三浦 英之
- 富岡 幸一郎
- 松本 猛
- 西村 亨
- 永江 朗
- 関川 夏央
- ねじめ 正一

塩尻市立図書館
SHIOJIRI CITY LIBRARY

本の寺子屋 講演会

LECTURE

企画展

EXHIBITION

5・19 (日) 第13期本の寺子屋開講式

福島 泰樹 (歌人)

短歌絶叫 あなたはそんなにパラソルを振る

5・26 (日)

落合 恵子 (作家・子どもの本の専門店クレヨンハウスほか主宰)
自分を生きるーいまから、ここから、あなたからー

5・27 (月) 公共図書館職員向け講座

是住 久美子 (田原市図書館館長)

人口減少時代の図書館サービスー協働によるまちづくりー

6・16 (日)

山本 一力 (作家)

生き方雑記帖2024

7・7 (日)

中川 ひろたか (シンガーソングライター)
ぼくが作った歌と絵本

7・14 (日)

亀山 郁夫 (ロシア文学者・名古屋外国語大学学長)
ドストエフスキーとロシア的悲劇の根源

8・4 (日)

加藤 陽子 (東京大学文学部教授)
超長寿時代の平和と戦争を考えるために
ー全ての世代の立場からー

8・6 (火) 学校職員向け講座

青木 いず美 (群馬県甘楽町立福島小学校司書教諭)
GIGAスクール時代の学校図書館

ー小さな小学校の司書教諭の実践ー

8・11 (日) 地域文化サロン

伊藤 純郎 (筑波大学名誉教授)

桔梗ヶ原の青春ー大陸の花嫁と女子拓務訓練所ー

9・8 (日)

三浦 英之 (朝日新聞記者・ルポライター)
日本という国家の幻影を追って

10・6 (日)

富岡 幸一郎 (文芸評論家)

島崎藤村の『夜明け前』を読む

10・20 (日)

松本 猛 (ちひろ美術館常任顧問・横浜美術大学客員教授・作家)
ちひろ没後50年
ー絵本史のなかのいわさきちひろー

10・30 (水) 古田晃記念館文学サロン

西村 亨 (2023太宰治賞受賞者・作家)

恥ずかしさを乗り越えて、内側の幸福に目を向けて生きる

永江 朗 (フリーライター)
筑摩書房と古田晃と信州と

11・10 (日)

関川 夏央 (作家)
メタ小説としての司馬遼太郎『坂の上の雲』

12・1 (日)

ねじめ正一 (詩人・作家)
小説『高円寺純情商店街』から絵本『ゆかしたのワニ』

4・13 (土) — 5・12 (日)

まるやまあやこ絵本原画展
『こじのデパート』

4・15 (月) — 5・12 (日)

江口みつおき詩画集原画展
『風の伝言』

6・15 (土) — 7・14 (日)

『アジア人物史』完結記念展
協力：株式会社 集英社

10・16 (水) — 10・27 (日)

いわさきちひろ複製画展
協力：ちひろ美術館

3・1 (土) — 3・30 (日)

なかしまじゅんこ絵本原画展
『すけすけのりも』

…えんてらす開催

本の寺子屋 既刊本のご紹介

信州しおじり本の寺子屋
10周年記念出版

『「本の寺子屋」新時代へー塩尻市立図書館の挑戦2』
「本の寺子屋」研究会編、東洋出版、2021年

5周年記念出版

『「本の寺子屋」が地方を創るー塩尻市立図書館の挑戦』
「本の寺子屋」研究会著、東洋出版、2016年

「信州しおじり 本の寺子屋」は、2012(平成24)年7月29日(日)に開講しました。年間を通して本の魅力を発見し、本の可能性を考えるためのさまざまな講演会や講座、企画展などを開催します。各事業の詳細は個別に発表します。



子ども本の寺子屋も開催しています。くわしくは別リーフレットをご覧ください。

